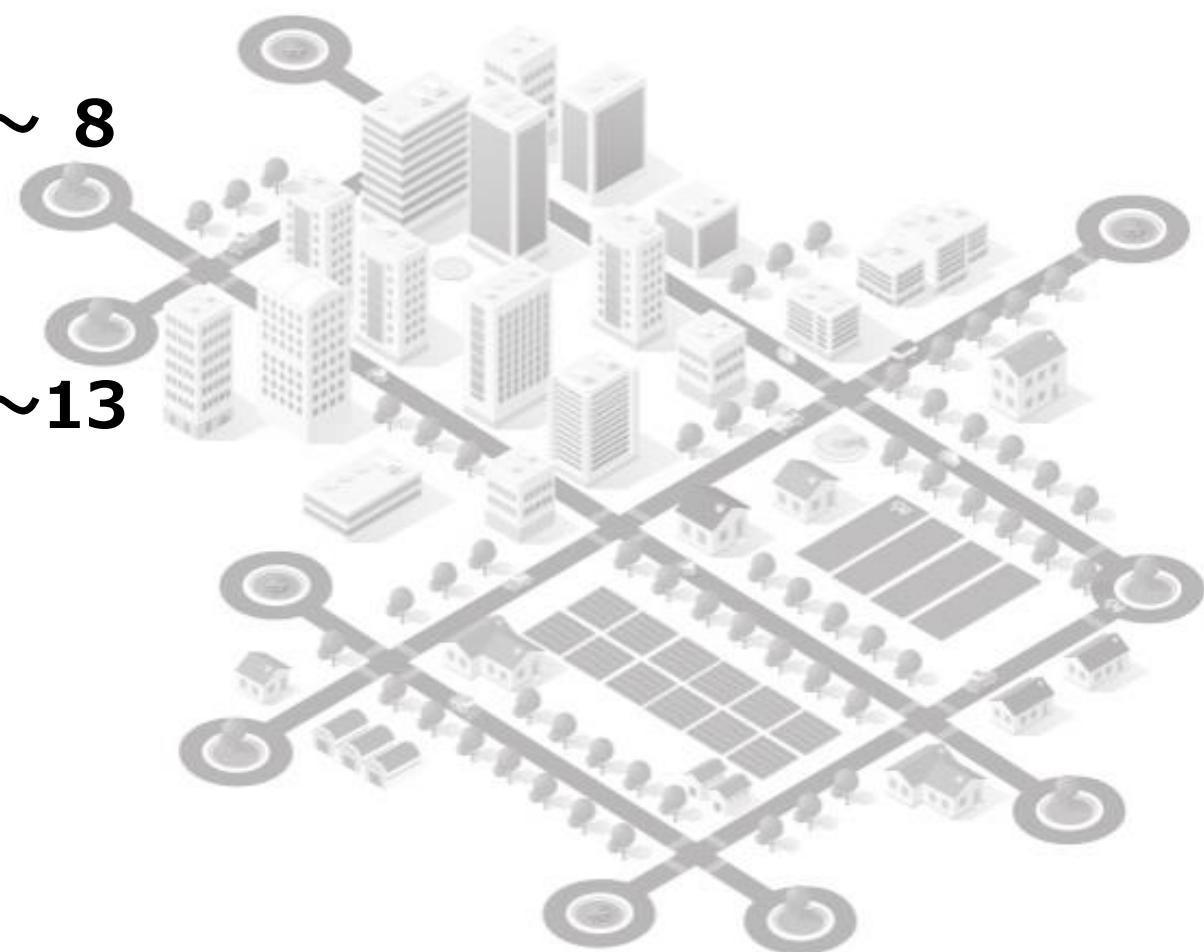


ふくやまICT戦略

(案)

2020年(令和2年)〇月

1	戦略策定の趣旨	p 1
2	本市を取り巻く状況	p 2
3	めざす姿	p 3
4	基本的な視点・取組方針	p 4
5	重点分野	p 5
6	取組イメージ例	p 6
7	事業推進体制	p 7 ~ 8
8	ロードマップ°	p 9
9	用語解説	p10~13



1 戦略策定の趣旨

策定の趣旨

- 少子高齢化の更なる進行やそれに伴う人口減少は、地域の交通、医療・福祉、学校教育の在り方や行政運営などの様々な分野で社会に影響を及ぼしています。このため、今後はA IやI o Tなどの先端技術を活用した新たな都市づくり（Society5.0の実現）が重要となります。
- 本市では、2018年度(平成30年度)から『まるごと実験都市ふくやま』を掲げるとともに、「先端技術によるまちづくり官民協議会」を設置する中で、社会課題・地域課題の解決や新たな都市魅力の創造に向けた実証実験の積極的な受入れや、本市がめざす先端技術を活用した都市像の議論を深めてきたところです。
- このたび、これまでの本市の取組を踏まえ、本格的なA I・I o T時代に本市が都市としての輝きを更に増すことができるよう、先端技術活用における基本的な視点・取組方針や重点的に推進すべき分野を体系的に取りまとめた「ふくやまI C T戦略」を策定します。

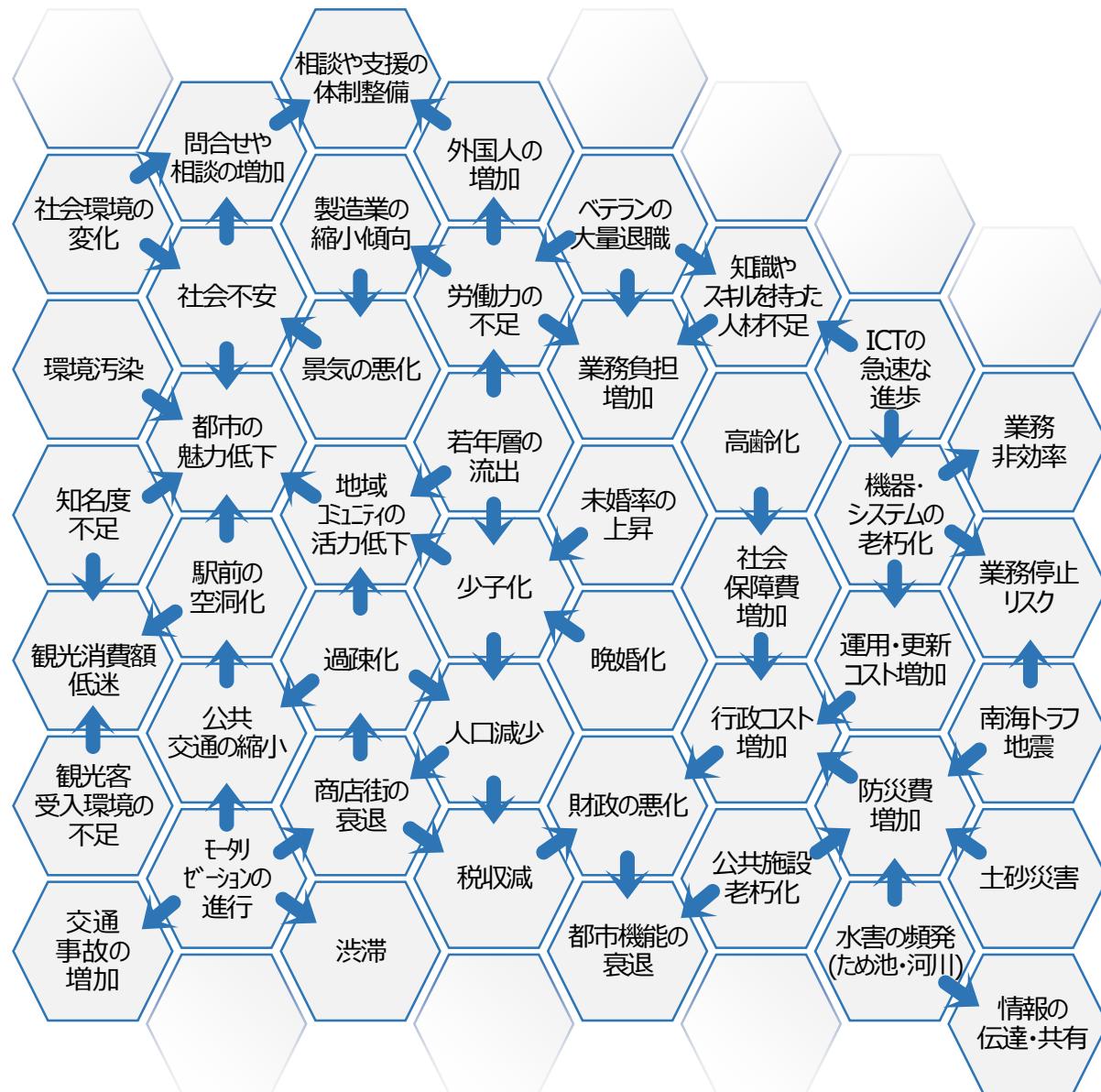
期 間

2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）

2 本市を取り巻く状況

本市では、少子高齢化の進行や若い世代の転出超過などが続いており、本格的な人口減少社会の到来が目前に迫っています。また、社会情勢・経済情勢などの変化により、市民のライフスタイルや若者の意識も変化し、市民ニーズは複雑化・多様化しているため、新たな時代に向けた対応が求められています。

複雑化する課題



求められる対応

- 交通の便や渋滞に煩わされず、誰もが不便なく出かけられる環境の整備
- 超高齢社会における社会保障費の抑制
- 中小企業の生産性向上・働きやすい職場環境づくり
- 受入環境整備による観光客の誘致と観光消費の促進
- 駅前を中心とした市街地の新たな魅力創出
- 頻発する自然災害への備えを強化した災害に強いまちづくり
- 社会環境の変化に対応しつつ、個を大切にした学校教育環境の整備
- 便利で効率的な行政サービス
- 安心して子どもを産み、育てられる環境の整備
- 担い手不足に対応した新たな地域コミュニティづくり
- 若年層の転出超過抑制
- 急速に進歩する革新的な技術を創造・利活用できる人材の育成
- 関係人口が活躍できる効率的な都市インフラの整備

3 めざす姿

AIやIoTなどの先端技術を市民生活や企業活動に導入しようという取組が進んでいます。このため、本戦略は、今後更に発展し、暮らしの中へ普及していく先端技術を活用し、都市の拠点性を高めるとともに、近未来社会における「豊かさ」と「安心・安全」をここ福山から発信することを目標とし、

めざす姿を「**新しい豊かさや安心・安全な暮らしを創造する未来都市**」とします。

基本的な視点

- ① 地域課題の解決
- ② 市内企業の活力向上
- ③ 都市の魅力向上

取組方針

- ① 次世代を担う人材の育成
- ② 民間企業等との共創
- ③ 実証実験の積極的な受入れと社会実装への挑戦
- ④ オープンデータ化（データの蓄積）

重点分野

- ① モビリティ
- ② 支払
- ③ 医療・福祉・介護
- ④ 観光
- ⑤ 防災・安全
- ⑥ 教育
- ⑦ 行政

新しい豊かさや安心・安全な
暮らしを創造する未来都市

4 基本的な視点・取組方針

めざす姿を実現するため、次の**基本的な視点**と**取組方針**に基づいて新たな都市づくりを推進します。

基本的な視点

① 地域課題の解決

住民理解を深める中で、先端技術を継続的に取り入れ、地域の快適な暮らしを実現します。

② 市内企業の活力向上

既存産業の魅力化、新産業の創出などを通じて、地域産業を活性化します。

③ 都市の魅力向上

ワクワクする体験が実感でき、住みたい・行ってみたいと思われる魅力を創り出します。

取組方針

① 次世代を担う人材の育成

- 教育機関と連携し、次世代を担う創造性豊かな人材を育成します。
- 生産性を高めるため、セミナーなどを通じたスキルアップや倫理観の習得を支援します。

② 民間企業等との共創

- 業種を超えた推進体制を構築し、企業間のみならず、企業や大学、民間団体等と広く連携して取り組みます。
- 多様化する市民ニーズと企業シーズを的確にマッチングすることで、新たな価値の創造につなげます。

③ 実証実験の積極的な受入れと社会実装への挑戦

- 地域課題の解決につながる実証実験を市民・地域とともに積み重ね、社会実装につなげていきます。
- 国、県、他自治体などとも連携しながら、規制緩和や制度の改善・創設に積極的に取り組みます。

④ オープンデータ化（データの蓄積）

- 取組で得られたデータ等を蓄積し、可能な限りオープンデータ化を図ります。
- 民間企業等におけるオープンデータの利活用を促進することで、イノベーションが起こりやすい環境づくりを進めます。

※基本的な視点や取組方針に基づき実現する「一人ひとりを大切にした人間中心の社会」は、SDGsの達成に寄与します。

5 重点分野

市民ニーズが高く、かつ新しい要素があり、市民・企業が直接メリットを実感することのできる次の**7分野**を重点分野として、分野を超えた連携を積極的に行いながら、社会実装に向けて取り組みます。

重点分野と社会実装イメージ

① モビリティ

自動運転車両の普及で、商品を満載した店舗や医療設備を備えた病院、便利なオフィス空間としての車が街を自動巡回し、移動だけでなく、生活や仕事そのものを便利にします。



② 支払

キャッシュレス決済の普及・発展で、お店からはレジや現金を保管する金庫がなくなり、手ぶらで入店しても気に入った商品を顔認証や静脈認証で買えます。



③ 医療・福祉・介護

5Gを活用したロボットによる遠隔の診断や処方、病院や施設などに行かなくても、住み慣れた自宅で専門医の診察や薬の処方などを受けたりすることが可能となります。



④ 観光

観光MaaSの実現によるストレスフリーな移動の実現や多言語翻訳などで満足度を高めたり、ビッグデータの活用により興味関心を高めたりすることで、旅行者の周遊や消費を促します。



⑤ 防災・安全

センサー網や巡回ドローンで、市内全域の事故や異変などをいち早く察知し、被害状況の把握や迅速な避難誘導、効果的な防災対策などにつなげます。



⑥ 教育

通信環境の整備やICT教育機器の充実で、場所や時間に縛られず、首都圏や外国の仲間とつながりながら、どこでも質の高い教育を受けることができます。



⑦ 行政

データ連携によるワンストップの実現などで、証明書の発行やライブイベント時の煩雑な手続き、問合せなど、どんなことでもスマホ一つで可能です。



6 取組イメージ例

実証実験は、本市の多様なフィールドを生かして取り組み、得られたノウハウやデータを蓄積して分析し、新たなサービスの創出や社会実装につなげます。また、同様の課題を抱える周辺自治体などへの横展開をしていきます。



新サービスの創出・社会実装

分野連携

🚗 モビリティ

自動走行バスが拠点や中心市街地を巡回

💰 支払

キャッシュレス化による消費の喚起で地域を活性化

🏞️ 観光

インバウンドの受入環境整備で魅力を向上

👤 観光

効果的な情報発信やおもてなしツールで中心市街地にぎわい創出

👤 医療・福祉・介護

AIやIoTの活用で健康長寿や高齢者の見守りを実現

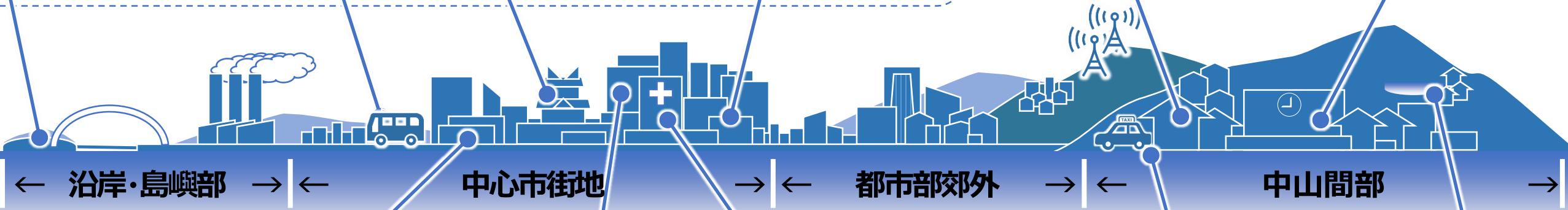
🎓 教育

遠隔授業やサテライトキャンパスで教育の質や知的好奇心を向上

どこでも高度医療

いつでも行政

らくらくお出かけ



📍 防災・安全

ビッグデータから危険な個所を把握し、最適な通学路を選定

👤 行政

ワンズオンリーやロボットの導入で市民サービスを向上

🏠 医療・福祉・介護

スマホでの医療情報の自己管理や遠隔診療で健康寿命を延伸

🚗 モビリティ

オンデマンド乗合タクシーで地域住民のおでかけ支援

🚁 防災・安全

ため池や危険箇所をセンサーやドローンで管理・把握し、避難御守に活用

7 事業推進体制

先端技術によるまちづくり官民協議会

【活動内容】 ICT戦略の策定・進捗管理・見直し, 社会実装の提案 など

【体制】 委員 : シャープ(株), ソフトバンク(株), (株)シギヤ精機製作所,
(株)メディアテック中心, 福山大学, 福山市立大学, 福山市
オブザーバー : 実証チームに参加する企業 など

連携・提案

福山市

近未来実証事業

実証チームA

企業・市関係部署 など

実証チームB

企業・市関係部署 など

実証チームC

企業・市関係部署 など

まるごとサポート事業

支援決定企業A

支援決定企業B

支援決定企業C

情報
プラットフォーム

利活用

利活用

参加

参加

企業・大学等

国

内閣府
地方創生推進事務局

関係府省庁

広島県

デジタルトランスフォーメーション
推進本部

商工労働局
イノベーション推進チーム

支援・
連携

7 事業推進体制

○事業

事業	内容
近未来実証事業	重点7分野について、提案企業と市関係部署などにて実証チームを編成し、社会実装につながる中・長期的な実証実験を実施するほか、必要に応じて規制緩和の働きかけなどにも取り組む。
まるごとサポート事業	分野を限定せずに幅広く企業等から募集した実証実験のうち、先端技術などを活用して地域課題の解決や市民生活の質の向上などにつながるものを認定する。 実証実験のPR、実験場所の提供、官公庁手続きなどの面で福山市が支援する。

○各組織の役割

組織	内容
先端技術による まちづくり官民協議会	委員 ○ふくやまICT戦略の策定・進捗管理・見直し ○横展開に向けた実証実験・社会実装の研究 ○社会実装に向けた規制緩和や補助金交付等のための国との協議や情報交換 など ○実証チームとの意見交換
	事務局 ○運営・庶務
福山市	担当課 ○実証実験の公募 ○情報プラットフォームの構築、周知等 ○社会実装に向けた検討 など ○実証チームの設置
	関係各課 ○関連する実証チームへの参加 ○情報プラットフォームとの連携、利活用 ○社会実装に向けた検討 など ○実証実験の効果の検証
実証チーム（近未来実証事業）	○重点的に推進すべき分野の実証実験の検討 ○情報プラットフォームとの連携、利活用 ○実証実験の実施 ○実証実験の効果の検証
支援決定企業（まるごとサポート事業）	○実証実験の実施 ○市施策への協力
国	○近未来技術等社会実装事業の地域実装協議会などを通じたハンズオン支援 ○各種補助金、関係交付金、特定措置の適用等の活用の実効性等の検討
広島県	○AI/IoTプラットフォーム事業などを通じた実証実験への支援、自治体や県内企業との調整・マッチング、各種情報提供

8 ロードマップ

2020	2021	2022	2023	2024
<h3>福山市の動き</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 (2020.3~) ○第5次福山市総合計画第2期 ○福山城築城400年 ○ICT教育機器整備完了 ○第2期福山北産業団地完成 ○世界バラ会議福山大会開催 <p>近未来技術等社会実装事業期間〔内閣府〕</p>				
<h3>国の動き</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○大型観光キャンペーン ○東京オリンピック・パラリンピック ○小学校教育改革 (外国語教育・プログラミング教育) ○自動運転の実用化 (高速道路・限定地域) ○第6期科学技術基本計画 				
<h3>重点分野の動き (イメージ)</h3>				
<h4>モビリティ</h4> <p>実証実験 → オンデマンドモビリティの社会実装 → 地域事業者や各種データとの連携実装 → 自動走行バスの実証実験開始 (公道)</p>				
<h4>医療・福祉・介護</h4> <p>実証実験 → PHRアプリの社会実装 → スマートフレイルチェックの社会実装</p>				
<h4>行政</h4> <p>RPAの拡大 → チャットボットの導入 → ワンスオンリーの実現</p>				

9 用語解説

	用語	意味	ページ
あ行	あいしーていー ICT	「 <i>Information and Communication Technology</i> 」の略。 情報処理や通信に関連する技術や産業，設備，サービスなどの総称のこと。情報通信技術。	p1
	あいおーていー IoT	「 <i>Internet of Things</i> 」の略。 情報通信機器だけではなく，世の中にある様々なモノに通信機能を持たせ，インターネットに接続したり相互に通信することで，自動認識や自動制御，遠隔計測などを行う概念のこと。	p1
	あーるぴーえー RPA	「 <i>Robotic Process Automation</i> 」の略。 AIや機械学習などの認知技術を活用し，定型的なパソコン操作などの業務の効率化・自動化を行う取組のこと。仮想知的労働者ともいう。	p9
	イノベーション	「 <i>Innovation</i> 」 まったく新しい製品やサービスを生み出すこと。技術革新。	p4
	インバウンド	「 <i>Inbound Tourism</i> 」の略。 外国人の訪日旅行のこと。	p6
	えーあい AI	「 <i>Artificial Intelligence</i> 」の略。 人工的に作られた人間のような知能ないしはそれを作る技術のこと。人工知能。	p1
	えすでいーじーず SDGs	「 <i>Sustainable Development Goals</i> 」の略。 2030年までに持続可能な社会を目指すための国際的な目標。2015年の国連総会で採択され，17の大きな目標と169の具体的なターゲットからなる。	p4
	オープンデータ化	保有するデータを，機械判読に適したデータ形式で，二次利用可能な利用ルールで公開すること。2016年(平成28年)の「官民データ活用推進基本法」で，国及び地方公共団体はオープンデータに取り組むことが義務付けられた。	p4
	オンデマンドタクシー	事前の利用登録が必要な，予約型の乗り合いタクシーのこと。 福山市では2018年(平成30年)3月から5月にかけて，服部学区での実証実験を行った。	p6

9 用語解説

	用語	意味	ページ
か行	キャッシュレス決済	紙幣や硬貨といったキャッシュ(現金)ではなく、クレジットカードや電子マネーなどによる電子的な決済手段を用いて支払いを行うこと。近年はスマートフォンの普及により、QRコードを利用した決済が急速に普及している。	p5
	QRコード	「Quick Response Code」の略。 白と黒の小さな四角形を縦横同数並べた図形パターンでデータを記録する規格のこと。	p11
	近未来技術等 社会実装事業	近未来技術などを活用した地方公共団体による取組のうち、地方創生に資する優れた取組を関係府省で総合的に支援する内閣府の事業のこと。福山市は『先端技術を活用した地域課題解決実証事業～「まるごと実験都市ふくやま」の推進～』として2019年度に選定された。	p8
さ行	サテライトキャンパス	「Satellite Campus」 都心や交通の便の良い駅の周辺など、大学からは地理的に離れているが通学者にとっては利便性の高い場所に設置されたキャンパスのこと。	p6
	シーズ	「Seeds」 企業の持つ、事業化や製品化の可能性のある技術やアイデア、人材、設備などのこと。	p4
	実証実験まるごと サポート事業	福山市が2018年度(平成30年度)に開始した、先端技術などを活用して地域課題の解決などにつながる実証実験に対し、PR協力や実験場所提供などの支援をする制度のこと。	p7
	情報プラットフォーム	ビッグデータを収集して蓄積し、抽出したデータの分析結果からアプリケーションなどを介してサービスを提供する、IoTを具現化するために必要となる基盤。	p7
	Society5.0	狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新たな社会を生み出す変革を、科学技術イノベーションが先導していく、という概念。政府の第5期科学技術基本計画で我が国がめざすべき未来社会の姿として提唱された。	p1

9 用語解説

	用語	意味	ページ
た行	地域実装協議会	近未来技術等社会実装事業として選定された事業において、事業ごとに組織される協議会。構成員として関係府省庁の担当者も位置づき、社会実装に向けて総合的な支援が行われる。	p8
	チャットボット	「Chatbot」 AIを活用した自動会話プログラムのこと。業務の効率化やサービスの向上につながるため、導入が進められている。あらかじめプログラムされた想定質疑内容に基づき回答する「ルール型」と、膨大なデータの中から学習した内容を返す「機械学習型」の2種類がある。	p9
	デジタル手続法	2019年(令和元年)5月に公布された、行政のデジタル化に関する基本原則や個別施策を定めた法律のこと。正式名称は「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律」のこと。	p13
	ドローン	「Drone」 無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称のこと。無人航空機。	p5
は行	ぴーえいちあーる P H R	「Personal Health Record」の略。 診療や投薬の記録や運動実績、身長や体重などの健康関連情報を集約し、生涯にわたって一元管理する仕組みのこと。生涯型電子カルテ。	p9
	ビッグデータ	スマートフォンの位置情報、カーナビの走行記録、各種センサーの検知情報、店舗の購買情報など、インターネットなどを通じてリアルタイムで生成・収集・蓄積される膨大な量のデータのこと。将来予測や原因の特定、新たなサービス創出などに活用されている。	p5
	ふぁいぶじー 5 G	「第5世代(5th Generation) 無線移動通信技術」の略称。 超高速かつ大容量の通信速度と低遅延の通信方式で、IoTの普及に不可欠とされる。	p5
	フレイル	「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を表す「Frailty」の日本語訳のこと。健康状態と要介護状態の中間的な段階を示す。2014年(平成26年)に日本老年医学会によって提唱された。	p9

9 用語解説

	用語	意味	ページ
ま行	まーす M a a S	「 <i>Mobility as a Service</i> 」の略 出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに1つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念のこと。	p5
	モータリゼーション	「 <i>Motorization</i> 」 自動車が普及し、一般の生活の必需品となる現象のこと。	p2
	モビリティ	「 <i>Mobility</i> 」 自動車やバス、鉄道などの交通手段のこと。もともとの意味は流動性、移動性。	p3
わ行	ワンストップ	行政機関に提出済みの書類やデータの再提出を求めないこと。デジタル手続法では、「デジタルファースト（手続き・サービスをデジタルで完結）」「コネクテッド・ワンストップ（民間サービスを含めた手続き・サービスの一元的な提供）」とともに、デジタル3原則の1つとして位置付けられた。	p5

